

# 加美農業高等学校

校訓 耕心



## 1 基本データ

創 立：明治33年  
課程・学科：全日制課程・農業科、農業機械科、生活技術科  
生徒数：151名  
所在地：〒981-4111  
加美郡色麻町黒沢字北條 152  
TEL：0229-65-3900  
FAX：0229-65-3901

ホームページアドレス：  
<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>  
電子メールアドレス：  
kamino-h@od.myswan.ed.jp  
主な交通機関  
◆宮城交通バス「色麻町役場前」より車で約10分  
◆JR陸羽東線 西古川駅より車で約20分

## 2 学校の特徴

### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は明治33年に設立、明治34年に現在の宮城県中新田高等学校の地で開校し、今年度に創立126年を迎える伝統ある高校です。全国に数ある農業高校の中で、昭和39年に、文部省より第1号農業自営者養成高等学校(パイロットスクール)指定の内示を受け、昭和40年に発足しました。昭和48年には普通科を宮城県中新田高等学校として分離独立させ、農業専門の高校として色麻町に移転し現在に至っています。

専門教育においては、教育環境や教育設備に恵まれ、コンピュータや自動制御技術、そしてバイオ技術など、最先端技術を積極的に取り入れた教育を行っています。

東京ドーム17個分の広大なキャンパスは、全国第2位の広さを誇っており、自然に恵まれ、落ち着いた環境で高校生活を送ることができます。

また、本校の大きな特色に寮教育があります。1年生は必ず体験入寮を経験しますが、遠隔地通学生などの中で希望する生徒は3年間の入寮が可能です。耕心寮は平成7年に新築され、明るく近代的な設備を有し、年間を通じて70人程の生徒が在寮しています。規則正しい寮生活の中で、互いに切磋琢磨し、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培いながら、楽しく和やかな寮生活を送っています。

### (2) 教育方針

<校訓>

『耕心』

それは飽くなき文化への

憧れと創造を意味する

それは豊かな人間性の開発を意味する

それは強い意志の鍛錬を意味する

そしてそれは人生への日々新たな

希望と喜びとの指標でもある

<教育目標>

- ① 高い志を持ち、自ら意欲的に学ぶ生徒の育成
- ② 情操豊かで、心身ともに健全な品格ある生徒の育成
- ③ 社会性を身につけ、地域を支える人材の育成

### (3) 教育課程の特徴

農業科は、農業生産や流通・環境や情報に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の経営者及びこれらに関する業務の技術者として必要な能力・態度を育成します。

農業機械科では、農業機械の学習をとおして整備並びに機械加工の知識と技術を習得させ、農業をはじめとする地域産業の発展を技術者として支える人材を育成します。

生活技術科は、農業生産と家庭経営に興味・関心を持ち、心豊かな生活を実践し、地域で活躍できる能力や態度を育成します。

### (4) 行事・生徒会活動・部活動

主な学校行事として、校内意見発表会、全校田植え、収穫感謝の会、加美農祭、農業学習発表会、修学旅行(2学年)があります。また、韓国の水原農生命科学高校との交流を積極的に展開し、隔年で訪問と招請を続け、深い友情を育み、異文化について学んでいます。

部活動は、各部とも地区大会や県総体、各種大会での上位入賞を目指し熱心に練習を重ねています。特に相撲部は、これまでに県総体団体戦で18回の優勝を果たし、インターハイや国スポなど全国大会に出場しています。昨年度は県総体で団体戦第1位、個人戦80kg級で第1位。県新人大会においては、団体戦第1位、体重別個人戦80kg級・100kgで第1位となり、東北選抜、全国選抜の上位大会に出場しました。

生徒会活動では、学校行事の企画運営や挨拶運動、募金活動等に積極的に取り組んでいます。中学生対象のオープンキャンパスでは、生徒会が中心となって学校紹介イベントや学校案内を行っています。また、近年では毎年加美町で開催される「うめがすつ鍋まつり」に参加しており、相撲部直伝の塩ちゃんこ鍋は行列ができるほどの人気です。様々なメディアにも取り上げられ、校内外で幅広く活躍しています。



### (5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
大学	6	5	2
短期大学	2	1	0
専各学校	7	11	6
就職(県内)	25	24	24
就職(県外)	2	7	4
その他	0	0	3
卒業生計	42	48	39

主な進路先(令和8年3月卒業生)、  
( )内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

東北学院大学(2)、東京農業大学(2)、酪農学園大学、宮城学院女子大学

<短期大学>

宮城誠真短期大学(2)

<専修各種学校>

宮城県農業大学校(3)、岩手県立農業大学校、仙台高等技術専門校、石巻高等技術専門校、仙台理美容専門学校

<就職>

自衛隊、JA全農ラドファ、アルプスアルパイン、華桜会、加美よつば農業協同組合、ケイテック宮城テクノロジーセンター(2)、精工宮城工場、東日本グローイング、古川興業、プロスパイン、CKD(2)、NTCM、栗駒高原森林組合(2)、コバヤシ、白石食品工業、新幹線リフトテクノロジー、仙台農業協同組合、トヨタ自動車東日本、トヨタ紡織東北、日進工具、ビューテック、ワイ・デー・ケー、九十九サービス、ニチレイロジスティクスエンジニアリング



### 3 学校魅力発信

#### (1) 本校生徒の活躍

本校生徒の活躍は多岐にわたり、高校生が先生になり、命の大切さや搾乳体験を小学生に学んでもらうモーモースクールや全国都市緑化仙台フェアへの出展、マイクラフトを利用した授業や近隣小中学校との連携授業に取り組んでいます。

手作り自動車省燃費競技大会では、手作り自動車を製作し、エンジンのセッティングや効率の良い運転方法などを研究して、大学や専門学校も参加する中、上位入賞を果たしています。また、アグリテック甲子園2023では色麻町と連携した箱屍の開発による獣害対策の取り組みが評価され、最優秀賞とテクノロジー賞をダブル受賞しました。

その他、社会福祉協議会と連携した各種ボランティア活動や、食材王国みやぎで開催している高校生地産地消お弁当コンテストに参加し、お弁当の開発にも取り組んでいます。



#### (2) 学校行事

##### 《全校田植え》

それぞれのクラスが、自分たちの持ち味を発揮しながら田植えを行います。速さだけでなく、植え方のきれいさ、クラスのまとまり、連携などを総合的に判断し、審査が行われ順位がつけられます。

令和7年度は農業科の2年生が第1位となりました。「声がけ」作戦で気持ちを合わせて苗を植え、見事に優勝を勝ち取りました。



##### 《文化祭》

令和7年度は、「This is 青春～最高の瞬間を最高の仲間と～」というテーマのもと一般公開が開催されました。

今年度は、令和8年10月30日(金)、31日(土)の2日間加美農祭が開催されます。31日(土)の一般公開日には、リンゴやネギ、米や花などの農産物販売、鍋祭りや1,000食売上げ相撲部塩ちゃんこ鍋の模擬店などを企画しております。ぜひご来場ください！



##### 《収穫感謝の会》

加美農で収穫した米や野菜を食材に各クラスで調理し、おにぎり豚汁コンテストを実施しました。牧草ロール転がし・一輪車競争リレー・〇×クイズのレクレーションも行なわれ、今年度の収穫に感謝する一日になりました。



#### (3) 韓国交流

平成3年6月に水原農生命科学高校と姉妹校の締結を行い、その後、相互訪問を行っています。長年、有意義な交流を続けており、両校のみならず日韓両国の親善と友好の関係を深めています。

令和7年度は、水原(スウォン)農生命科学高等学校の生徒7名、教員2名が本校を訪れました。



#### (4) 寮紹介

本校の大きな特色の一つとして寮教育があります。農業科は1カ月の義務入寮があり、農業機械科、生活技術科は1週間程度の体験入寮があります。遠隔地通学などで希望する生徒は3年間の入寮が可能です。規則正しい寮生活の中で、互いに切磋琢磨し、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培いながら、楽しく和やかな寮生活を送りましょう。

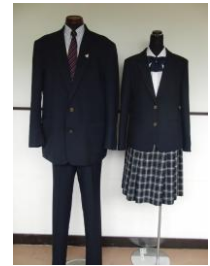


寮生会長(富田 陸斗さん 渡波中出身)

私たちは寮生活を通して、校訓「耕心」のもと、礼儀や人としての振舞いなど高い人間性について学んでいます。規則正しい生活習慣を身に付けることができることはもちろん、たくさんの人と交流することができるのも寮生活の魅力の一つです。また、寮には様々な行事があります。スポーツ大会や寮祭などでは、寮生会の生徒が中心となって企画・運営するなど、まさに自分たちで「作りあげる」行事であり、すごく盛り上がりがあります。また、本校で育てた食材を使用した食事も魅力の一つです。ぜひ、皆さんも寮生活を通して成長してみませんか。

#### (5) 学校制服紹介

男子はストライプのボタンダウンのシャツに濃紺のブレザーとズボン、女子は白のシャツに濃紺のブレザー。紺と白のタータンチェックのスカートがポイント。また、女子用はスラックスやネクタイも選択できます。



### 4 卒業生からのメッセージ

農業科(澁谷 嘉生さん 小野田中出身)

果樹・作物・野菜・草花・畜産・バイオの6部門あり、私はその中から露地部門を専攻しました。露地野菜部門では、種蒔きから生育管理、収穫までを自分の手で行い、野菜を一から育てる楽しさを実感しました。成長する過程を観察することが面白く、収穫の際の達成感が大きいです。自然や食、農業に関する学びが多く充実した学科です。加美農で農業の楽しさを学んでみませんか？

農業機械科(熊谷 悠吾さん 栗駒中出身)

農業機械科では、充実した実習と多くの資格取得を通して、農業や機械の分野で活躍できる実践的な技術を身に付けることができます。フォークリフトやクレーンなど、将来に役立つ資格を取得できるのが強みです。資格を多く持つことで、進学や就職など進路の選択肢をより一層広げることができます。

また、農業機械科では企業との連携を大切にしており、宮城ヤンマー商会の協力のもと、春には田植え機、秋にはコンバインの試乗や実習授業を行っています。実際の農業現場で使われている最新の機械に触れることで、より実践的な知識と技術を学ぶことができます。授業では、エンジンの分解・組み立てやトラクターの運転実習があります。あまり機械に触れたことがない人でもみんな仲良く、楽しく勉強しています！

生活技術科(猪股 菜さん 色麻学園出身)

生活技術科では、被服・保育・調理を専門的に学ぶことができます。被服では1枚の布からの浴衣作り、保育ではピアノや看護をメインに勉強し、調理ではお弁当やコース料理を作ります。生活全般に係る検定取得を通して、将来に役立てる知識を身に付けることができます。私も保育で看護を学び、実生活に役立てることができました。先輩と後輩の仲もよく、一緒に協力して学習に取り組んでいます。皆さん、生活技術科で新しいことに挑戦してみてください。